

JOHANNES BRAHMS

„Fest-und Gedenksprüche“ op.109

祝祭的で記念的な箴言(二重合唱)

Brahms がハンブルクの名誉市民に任命された折、その返礼として市長の Carl Petersen に献呈され、1889 年 9 月に初演された。作品は二重合唱の編成で書かれ、2 つに分かれたの音響群を巧みに対比させている。その響きはシンフォニックである。テキストの深い読みとスケールの大きな音楽表現が彼の特徴である。

1. *Unsere Väter hofften auf dich*

私たちの先祖はあなたを信頼しました

第 1 コーラス

Feierlich bewegt

第 2 コーラス

Un - se - re V ä - ter

Un - se - re V ä - ter

Detailed description: The image shows a musical score for two voices. The top staff is for the first chorus (第1コーラス) and the bottom staff is for the second chorus (第2コーラス). Both staves are in 3/2 time and G major. The first chorus part starts with a fermata, followed by a melodic line with lyrics 'Un - se - re V ä - ter'. The second chorus part also starts with a fermata, followed by a melodic line with lyrics 'Un - se - re V ä - ter'. The tempo/mood is 'Feierlich bewegt' and the dynamic is 'f'.

Unsere Väter hofften auf dich;

私たちの先祖はあなたを信頼しました

und da sie hofften, halfst du ihnen aus.

彼らが(あなたを)信頼していたので、あなたは彼らを救いました

Zu dir schrieen sie und wurden errettet;

彼ら(先祖たち)はあなたを呼び求め救われました

sie hofften auf dich und wurden nicht zu Schanden,

あなたを信頼していたので恥辱は受けませんでした

(詩篇22,4)

Der Herr wird seinem Volk Kraft geben;

主はその民に力を与え

der Herr wird sein Volk segnen mit Frieden.

平安をもってその民を祝福されるであろう

(詩篇29,11)

先行するコーラスが、音程間隔を広く取りユニゾンで歌っているに対し、後続コーラスは線的で各パートはハーモニー関係を形成している。神を「信頼していた」、*hofften*「や 神が彼らを「救った」、*aushalfst*「は長く引き伸ばされ、神とイスラエルの祖先が強い絆で結ばれていたことを強調する。その後、必死に神に救済を熱望している様子が描かれる。例えば「呼んだ」*schrieen*「とか「救われた」、*errettet*「のエネルギッシュなリズムが、2群のコーラスの間を駆け巡る。後半は、神が民に「力」、*Kraft*「が与える事を言葉にアクセントを付け強調し、「平安」、*Frieden*「をもって祝福されるであろうと、柔らかな安堵感のあるハーモニーで終わる。

JOHANNES BRAHMS

2. Wenn ein starker Gewappneter

強い人が十分に武装し

Lebhaft und entschlossen

第1コーラス

Wenn ein star - ker Ge - wapp - ne - ter,

第2コーラス

Wenn ein star - ker Gewapp - ne - ter,

Wenn ein starker Gewappneter seinen Palast bewahret,
強い人が十分に武装し彼の宮殿を守っている限り

so bleibt das Seine mit Frieden.

その持ち物は安全である (ルカ11,21)

Aber: ein jeglich Reich, so es mit ihm selbst uneins wird,
しかし おおよそ国が内部で分裂しすれば

das wird wüste;

荒廢する

und ein Haus fällt über das andere.

家も倒れ分解する (ルカ11,17)

「強固に武装した者」„Gewappneter“ をイメージさせる、しっかりとしたテンポと決然としたリズム感で始まる。2つのコーラスは摸倣しあい、高まりつつ確実に彼の「財産」„Seine“ が「保護」„Frieden“ の中にある事を音楽で証明している。ところが「しかし」„Aber“以降、状況が一変する。どんな国でも「分裂(一つにならない)」„uneins wird“ という所は、文字通り不協和な減音程でその破壊的な印象が強く表現される。やがて激しく上から叩き付けられ様な音の塊達が「家が崩れ落ちる」„ein Haus fällt“ の情景をリアルに描き出す。その混沌の中からもう一度「強固に武装した者」„Gewappneter“ の姿が浮かび上がってくる。力強く揺るぎない信仰は、神の庇護の中にいる事を確信させ、安寧を得ることになる。

3. Wo ist ein so herrlich Volk

強い人が十分に武装し

froh bewegt

Wo ist ein so herrlich Volk,

Wo ist ein so herrlich Volk, zu dem Götter also nahe sich tun

神が近くにおわす国民はどこにしようか

als der Herr, unser Gott, so oft wir ihn anrufen.

主である私たち神を 私たちが呼び求める時に (申命記4,7)

Hüte dich nur und bewahre deine Seele wohl,

ただ自分に気を付け 自分の魂によく注意して

dass du nicht vergessest der Geschichten, die deinen Augen gesehen haben,

あなたの目が見たことを忘れないでください

und dass sie nicht aus deinem Herzen kommen alle dein Leben lang,

そして命の日の限り、それがあなたの心をはなれることのないように

Und sollst deinen Kindern und Kindeskindern kund tun.

そしてあなたはそれを息子や孫たちに伝えなければならない

Amen

アーメン (申命記4,9)

Brahms は„ein“ という言葉に最高音と長い音符を当てている。これはイスラエルの民が「他に一つもない、ただ唯一の」と言う意味を、Brahms が音楽的に強調している。4分の3拍子の流麗で美しいメロディーは神に近い民を愛でながら、神に救いを求め「呼びかける」„anrufen“ という言葉に到達する。音楽は4分の4拍子に変わり、同音程の連続で心の奥底に静かに分け入って行く。自分の魂を大事に「保護」„hüte“ し、「守れ」„bewahre“ と語られる。それは「目を見たこと」„Augen gesehen haben“ を忘れない様にする為だと、優しいメロディーが諭すよに注意をうながす。また今まで起こった出来事から「心から離さないように」„Herz nicht kommen“ と言われるが、半音階を含んだメロディーはやや不安な内面を覗かせている。最後に再び4分の3拍子に戻り、音楽が未来に向けて流れ出す。「子孫」„Kindeskindern“ に自分達が神の民であることを伝えよと歌い、„Amen“ の響きが過去と未来とを繋ぐ。